

MT9085 シリーズアクセスマスタ

Release Notes

Version 3.00

拝啓、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本リリースノートには、弊社製 MT9085 シリーズアクセスマスタバージョン 3.00 における情報が記載されています。

今後ともご愛顧くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

内容

項目	説明
1. リリースされたソフトウェアと取扱説明書 …P3	本アップデートに含まれるソフトウェアと取扱説明書の一覧
2. 対象製品 …P3	本アップデートの対象となる製品の一覧
3. バージョン情報 …P4	バージョン情報の一覧
4. 新機能 …P5	新機能の一覧
5. 修正された不具合 …P9	修正された不具合の一覧
6. 既知の問題 …P13	既知の問題の一覧
7. 使用上の注意 …P14	MT9085 シリーズアクセスマスタの使用上の注意
8. ファームウェア更新の注意点 …P14	本アップデートを適用する際の注意点

1. リリースされたソフトウェアと取扱説明書

本アップデートには以下のソフトウェアと取扱説明書が含まれています。

ソフトウェア	バージョン
MT9085 シリーズファームウェア	3.00
取扱説明書	版数
MT9085 シリーズアクセスマスタ 取扱説明書	14.0
MT9085 シリーズアクセスマスタ SCPI リモートコントロール取扱説明書	4.0
MT9085 シリーズアクセスマスタ クイックガイド	7.0
MT9085 シリーズアクセスマスタ リモートコントロール取扱説明書	5.0

2. 対象製品

MT9085A, MT9085B, MT9085C

3. バージョン情報

本アップデートのファームウェアバージョンは下表のとおりです。MT9085A/B/C で現在のバージョンを確認してください（Setup ⇒ 機器情報画面でバージョンを確認できます）。

名称	バージョン
MT9085 Series Firmware Update File	3.00

4. 新機能

v 3.00 で追加、変更された内容

- なし。

v 2.05 で追加、変更された内容

- なし。

v 2.04 で追加、変更された内容

- 反射減衰量良否判定しきい値の設定可能下限値を-50dBから-60dBへ変更

v 2.03 で追加、変更された内容

- オランダ語を追加。

v 2.02 で追加、変更された内容

- なし。

v 2.01 で追加、変更された内容

- なし。

v 2.00 で追加、変更された内容

- なし。

v 1.14 で追加、変更された内容

- G0306C ファイバスコープに対応しました。

v 1.13 で追加、変更された内容

- なし。

v 1.12 で追加、変更された内容

- なし。

v 1.11 で追加、変更された内容

- なし。

v 1.10 で追加、変更された内容

- ファイバ長チェックの有効/無効の設定を追加。
この設定を有効にすると、測定前にファイバの長さが距離レンジを超えるかを調べ、光パルスの送出間隔を自動で調整することで、イベント点以外の不要な反射の発生を防ぎます。
この設定を無効にすると、測定開始までの時間が短縮されます。
上記機能は、v1.07以降のバージョンで常時有効となっておりましたが、本バージョンで有効/無効の設定が可能となりました。
言語設定が日本語の場合、バージョンアップにより自動的にデフォルト値の無効に設定されます。
- 次のSCPIコマンドを追加。
SOURce:AVERages:COUNT 平均化回数を設定、取得。
SOURce:AVERages:EXponent 平均化回数を2の指数形式で設定、取得。
SENSe:FIBCheck ファイバ長チェックの有無を設定、取得。
- 次のリモートコマンドを追加。
FIB ファイバ長チェックの有無を設定・取得。

v 1.09 で追加、変更された内容

- 遠端の自動検出しきい値に反射減衰量を追加。
反射減衰量がしきい値以下または損失がしきい値以上のイベントが、遠端イベントとして検出されます。20 dBを設定するとv1.08と同じ検出条件になります。
遠端の反射減衰量しきい値を設定、取得するリモートコマンドTHFRとTHFR2、SCPIコマンドSENSe:ANALyze:PARameters:ENDReflを追加しました。

v 1.08 で追加、変更された内容

なし。

v 1.07 で追加、変更された内容

- ケーブル認証試験アプリケーションを追加。
ISO/IECまたはJISの公的規格の測定に対して、合格/不合格を自動的に判定する機能です。
詳しくは、本体取説の7章を参照してください。
- Fiber Visualizerアプリケーションの波長設定に「すべて」を追加。
OTDRに搭載されている波長すべてを連続して測定します(2つの測定ポートを持つオプション055含む。オプション063は除く)。すべての波長測定データは1つのPDFレポートに一括して出力できます。
- ZIPファイル出力形式に対応。
Fiber Visualizerアプリケーションにおいて、複数の波長を同時測定した際にZIPファイル形式で一括して保存/読み込みができます。

- 測定画面のタイトル表示欄に、テキスト表示ができるよう対応。
光パルス試験(通常試験)の測定画面上部に、ユーザが設定したテキストを表示できるようにしました。

v 1.06 で追加、変更された内容

なし。

v 1.05 で追加、変更された内容

なし。

v 1.04 で追加、変更された内容

なし。

v 1.03 で追加、変更された内容

なし。

v 1.02 で追加、変更された内容

- 波形ファイルのサマリを作成する機能を追加。
波形ファイル（.SOR）のサマリ部分をテキストファイルに保存することができます。
詳しくは、本体取説の3.5.9項を参照してください。
- 文字入力画面に表示されるキーボードの初期値を変更。
言語の選択で日本語を選択している場合は、文字入力画面を表示したときに「かなキーボード」が表示されるようになりました。
- 全体波形の表示位置を変更。
全体波形の位置を「左下」か「右上」に表示することができるようになりました。
また、全体波形の高さを調整しました。
- オーバーレイ機能の変更
プライマリトレースしかないときでも「現波形をオーバーレイにする」が実行できるようになりました。測定後や波形ファイルを読み込んだ後にこの機能を実行すると、測定波形を基準波形として表示できます。

v 1.01 で追加、変更された内容

- 波形を拡大して表示する機能を追加。
グラフを拡大して表示することが可能になりました。グラフ左横のアイコンで通常の表示と拡大表示を切り替えることができます。
- グラフの波形色と背景色の設定機能を追加。
セットアップの「一般」に「背景色と波形の色」という設定が追加されました。これにより背景（白、黒）と波形の色（赤、黒、黄）の組み合わせを選択することができるようになりました。
- グラフの横軸グリッド数を変更。
グラフの横軸グリッド間隔を狭くして表示されるグリッドの数を増やしました。これにより目視による波形評価が容易になりました。
- リアルタイム測定を自動モードで測定できるように変更。
従来はリアルタイム測定時の測定モードは手動固定でしたが、自動で測定することも可能になりました。
- 測定条件設定ダイアログ表示中に測定実行できるように変更。
測定条件設定ダイアログを表示しているときにStartまたはRealtimeキーを押すと設定を確定し測定を実行できるようになりました。
- 起動時に前回終了時の波形を表示する機能を追加。
波形を表示した状態で電源を切った場合、次回起動時に前回終了時の波形が画面に表示されるようになりました。
ただし、終了時と起動時のアプリケーションが異なる場合は波形が消えますので注意してください。
- 簡単にアクティブ波形を切り替える機能を追加。
ファンクションキーの2ページ目に「次の波形へ」キーを追加しました。このキーを押すことでアクティブ波形切替を行うことができます。
- カーソルを非表示にする機能を追加。
マーカ操作の設定を配置方式にしている場合に、カーソルを非表示することが可能になりました。波形のみの画面キャプチャを撮りたい場合に有効です。

5. 修正された不具合

形名／バージョン	説明
MT9085 シリーズアク セスマスタ Ver. 3.00	製品の製造検査に関連する機能を改善。(14999)
MT9085 シリーズアク セスマスタ Ver. 2.05	日本語入力において、最大入力文字数を超えた状況で全角文字の変換・確定に失敗後、全角文字の入力・変換・確定の操作を繰り返すとフリーズすることがある不具合を修正。(14710) 日本語入力において、全角と半角が混在しているファイル名を入力している際に、カーソルの位置や入力済みの文字が文字化けすることがある不具合を修正。(14687) ORL(全反射減衰量)の結果がファイルに保存されない不具合を修正。また、画面遷移した際に ORL の表示が***となる不具合を修正。(14694) タイムゾーンが反映されない不具合を修正。(14682) オランダ語の翻訳ミスを修正。(14692)
MT9085 シリーズアク セスマスタ Ver. 2.04	v2.03 において発生条件により dB/km、全損失の解析結果が正しく計算されない不具合を修正 (14662、14664) v2.03 において、自動ダミーファイバ設定時に開始イベントが表示されなくなる不具合を修正 (14667) v2.03 において SOR ファイル読み込み時に保存時と異なる全損失の値が表示される不具合を修正 (14663)
MT9085 シリーズアク セスマスタ Ver. 2.03	MT9082x2(従来機種)と比較して低接続損失のイベントが正しく検出されないことがあることを改善(※表下に詳細説明を記載)。(14606) Fiber Visualizer のスプリットイベントのアイコンが左右反転していた仕様を変更。(13523)
MT9085 シリーズアク セスマスタ Ver. 2.02	Fiber Visualizer で波形ファイルを保存する前にレポートを作成するとフリーズすることがある不具合を修正。(14590) 接続チェックが特定環境下で正しく動作しないことがある不具合を修正。(14574) リモート GUI で波形ファイルをダウンロードしたときに、OS やブラウザの種類によってはテキストファイルとして保存される不具合を修正。(14454)
MT9085 シリーズアク セスマスタ Ver. 2.01	波長が 850nm もしくは 1300nm でアベレージ測定したときに、反射イベントの反射減衰量もしくはレベル差が低くなることがある不具合を修正。(14464) 波形にスパイク上のノイズが発生することがある不具合を修正。(14457) 製品の製造検査に関連する機能を改善。(14496)
MT9085 シリーズアク セスマスタ Ver. 2.00	製品の製造検査に関連する機能を改善。(14430)
MT9085 シリーズアク セスマスタ	測定中に測定条件を変更したときに、MT9085x がフリーズすることがある不具合を修正。(14421) 「工場出荷時設定に戻す」実行時、以下の項目が削除されない不具合を

Ver. 1.14	修正。(13525) ・単語帳 ・変換履歴 ・前回終了時波形
	MKP?コマンドにおいてマーカを配置していないときに、***を返さない不具合を修正。(14423)
	イベントの損失値の計算精度を向上。(14422)
	シナリオマネージャ Lite の動作安定性を向上。(13935)
	リモート GUI の動作安定性を向上。(14239)
MT9085 シリーズアク セスマスタ	製品の製造検査に関連する機能を改善。(13935)
Ver. 1.13	
MT9085 シリーズアク セスマスタ	SCPI コマンド、もしくはリモートコマンドを連続して受信すると、応答しなくなることがある不具合を修正。(13713)
Ver. 1.12	SCPI 制御後にローカル操作に戻ったとき、自動保存の設定がオフになる不具合を修正。(13714)
	SCPI 制御中にダイアログを閉じると、ローカル操作に戻れない不具合を修正。(13785)
	シナリオマネージャ Lite でシナリオを実行した後、SCPI コマンドに応答しなくなることがある不具合を修正。(13784)
	リモート GUI のファイルアップロード速度を向上。(13627)
MT9085 シリーズアク セスマスタ	以下の形名において、距離レンジ 200km 以上、パルス幅 4μs 以上に設定したとき、測定の途中でフリーズする不具合を修正。(13680) ・MT9085B-056 ・MT9085B-058 ・MT9085C-053 ・MT9085C-057
Ver. 1.11	
MT9085 シリーズアク セスマスタ	測定を中断した後、次の測定の接続チェックで良好にもかかわらず不良と表示することがある不具合を修正。(13670)
Ver. 1.10	平均化単位を回数に設定したとき、平均化や測定条件ダイアログに表示されるハードウェア加算回数が、実際の測定と一致しないことがある不具合を修正。(13583)
MT9085 シリーズアク セスマスタ	Fiber Visualizer でしきい値を読み込みもしくは保存した後、マクロバンドとスプリッタ損失が表示されない不具合を修正。(13584)
Ver. 1.09	非反射イベント検出精度を向上。(13616)
MT9085 シリーズアク セスマスタ	測定した波形の分解能が 10, 20, 40m のとき、ノイズフロアが正しく表示されない不具合を修正(距離レンジ: 50~200km、分解能: 標準、もしくは距離レンジ: 200, 300km、分解能: 高密度 に設定した場合)。(13546)
Ver. 1.08	
MT9085 シリーズアク セスマスタ	Fiber Visualizer で自動測定モードを「拡張」に設定したとき、自動イベント検出精度を向上。(12805)
Ver. 1.07	自動測定時のスプリッタ検出精度を向上。(13521)
	測定波形において、イベント点(コネクタや融着)以外で不要な反射が発生することのある現象を改善。この現象は、バージョン 1.06 以下において被測定ファイバに対して短い距離レンジ設定がされている場合に発

	生する。(13520)
	平均化単位の設定を切り替えたときに、表示と異なる平均化時間で測定する不具合を修正。(13533)
	VIP で日本語ファイル名を付けて保存すると MT9085x がフリーズする不具合を修正。(13513)
	自動で電源を切る設定が ON のとき、Fiber Visualizer で測定中に電源が切れてしまうことがある不具合を修正。(13501)
	光パルス試験(敷設試験)の波長の枠内で数値やチェックボックス以外の部分をタッチすると、モジュールには存在しない波長が選択されることがある不具合を修正。(13516)
MT9085 シリーズアク セスマスタ Ver. 1.06	マルチモードファイバを測定したときのイベント検出精度を向上。(12909)
MT9085 シリーズアク セスマスタ Ver. 1.05	測定した波形の解析機能において、スプリッタを含むファイバを測定したときのイベント検出精度を向上。(12582)
	測定するファイバの 40m 付近にコネクタがあるとき、接続が良好にもかかわらず接続チェックのレベルが低となる不具合を修正。(12583)
	破損したファイルをロードした後、測定した波形をセーブすると MT9085A がフリーズする不具合を修正。(12707)
	Fiber Visualizer で自動測定モードを「拡張」に設定したとき、測定中に MT9085A がフリーズすることがある不具合を修正。(12708)
MT9085 シリーズアク セスマスタ Ver. 1.04	波長を「全て」に、測定モードを「手動」に設定して、リアルタイム測定中に Start ボタンを押すと、測定モードが「自動」の設定で測定されてしまう不具合を修正。(12457)
	MT9085A を再起動すると、Fiber Visualizer で測定した波形が光パルス試験(通常試験)で表示されてしまう不具合を修正。(12059)
	候補の多い漢字を変換すると、MT9085A がフリーズする不具合を修正。(12321)
MT9085 シリーズアク セスマスタ Ver. 1.03	Bluetooth ドングルを取り外したときに、MT9085A がフリーズすることがある不具合を修正。(12302)
	Bluetooth で大量のファイル転送をすると、途中で通信が止まる不具合を修正。(12253)
	PC から Bluetooth 経由で次の操作をした後に、ファイル転送ができなくなる不具合を修正。(12259)
	1. MT9085 の内蔵メモリのルートフォルダを PC で開く。 2. MT9085 のルートフォルダ内のフォルダを開く。 3. MT9085 のルートフォルダに戻る。
	DAT?コマンドを連続して送ると、空データが返ってくることがある不具合を修正。(12247)
	ノイズフロアのない波形で配置方式マーカの自動配置が失敗する不具合を修正。(12225)
MT9085 シリーズアク セスマスタ Ver. 1.02	AC アダプタを抜き差しした際、すぐにバッテリー／電源アイコンが更新されないことがある不具合を修正。(11924)
	カーソル距離の単位が正しく表示されないことがある不具合を修正。(12036)

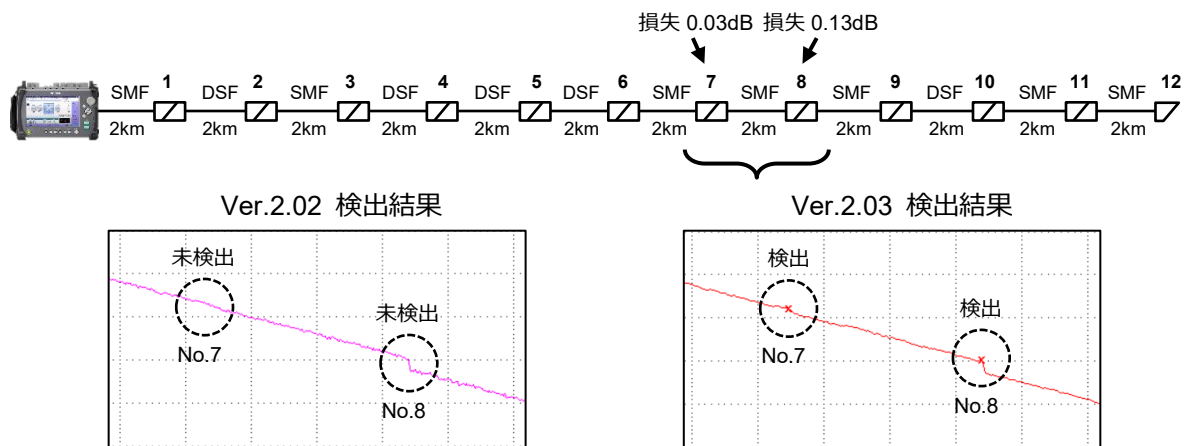
	パスワードを入力しなくても SCPI コマンドが使えるようになる不具合を修正。(12046)
	Fiber Visualizer で測定条件画面が正しく表示されないことがある不具合を修正。(12052)
	全波長試験のパラメータ画面で「全波長に設定」の表示が正しくないことがある不具合を修正。(12051)
	全損失が正しく計算されないことがある不具合を修正。(12069)
	Fiber Visualizer でアベレージ回数が正しく表示されないことがある不具合を修正。(12071)
	USB メモリに不要なログファイルが出力されることがある不具合を修正。(12072)
	リモートコマンドで制御しているときに「ローカル操作」ボタンが押せないことがある不具合を修正。(12075)
	グラフの縦軸が正しく表示されないことがある不具合を修正。(12080)
MT9085 シリーズアク セスマスタ Ver. 1.01	波長の設定を全てにして測定した際に、①②③④マーカが消える不具合を修正。 (12029)
	まれに一括配置および自動配置でマーカが適切でない位置に配置される不具合を修正。 (11994,11973)

※Ver.203 で修正した内容の詳細

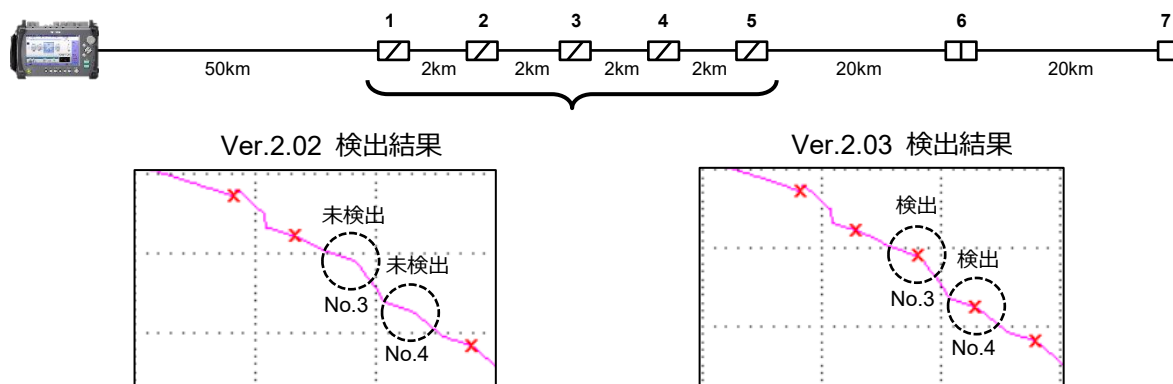
低接続損失のイベントや隣接したイベントの検出率が改善します。

ただしVer.2.03での測定時において改善しますが、Ver.2.02以前のバージョンで測定した波形ファイルを読み込み、再解析した場合は、Ver.2.02までの修正前までの解析結果になります。

改善例 1) Ver.2.02以前では下図のような損失の小さなイベントを検出できないことがありましたが、Ver.2.03ではこれらのイベントの検出が可能になります。



改善例 2) Ver.2.02以前では下図のような長距離ファイバにおいて隣接したイベントの一部を検出できないことがありましたが、Ver.2.03ではこれらのイベントの検出が可能になります。



6. 既知の問題

ファームウェアバージョン 3.00 における既知の問題は下表のとおりです。

形名	説明
MT9085 シリーズアクセスマスタ	➤ なし。

7. 使用上の注意

MT9085A/B/C を使用する前に以下を良くお読みください。

形名	説明
MT9085 シリーズアクセスマスタ	- 市販の USB メモリの中には MT9085 シリーズアクセスマスタで使用できないものがあります。8 章に動作確認済みの USB メモリが記載してあるので参照してください。 - アップデートを実行する前に、MT9085 シリーズアクセスマスタファームウェア更新手順および MT9085 シリーズアクセスマスタ取扱説明書を良くお読みください。

8. ファームウェア更新の注意点

- MT9085A/B/CがサポートしているUSBメモリを次の表に示します。お使いのUSBメモリがMT9085A/B/Cで認識できない場合は下表のサポートされているUSBメモリを購入してください。

Manufacturer	Model/capacity
Biocryptodisk	ISPX/4GB
Sony	POCKET BIT/32MB
Sony	POCKET BIT 512MB Turbo
GREEN HOUSE	PicoDrive/64 MB
TOSHIBA	TransMemory/256 MB
TOSHIBA	TransMemory/512 MB
ADTEC	DATASTICK/64 MB
Princeton	X i a o Jr./64 MB
BUFFALO	RUF2 - E1G - B/512 MB
I-O DATA	ToteBag/512 MB
Scan Disk	Cruzer Micro with Skins USB Flash Drive/256 MB
imation	Flash Drive Mini with swivel cap/256 MB
Transcend	JetFlash/256 MB
Sony	POCKET BIT/8GB USM8GJ-B
I-O DATA	ToteBag/4GB TB-AT4G/B
BUFFALO	RUF2-J4GS-BK

- ・ ファームウェア更新中にUSBメモリは絶対に抜かないでください。MT9085A/B/Cが起動できなくなる恐れがあります。
- ・ ファームウェア更新中にいずれのキーも押さないでください。更新が失敗して起動できなくなる恐れがあります。
- ・ ファームウェア更新中に電源を切らないでください。更新が失敗して起動できなくなる恐れがあります。
- ・ ファームウェア更新中にAC電源を抜かないでください。更新が失敗して起動できなくなる恐れがあります。
- ・ ファームウェアバージョンを3.00 以降から、2.05 以前にダウングレードすることはできません。

ファームウェアの更新に失敗して起動できなくなった場合はアンリツに問い合わせをしてください。